

「人材開発支援助成金」の活用例⑦

建設現場の生産性向上を目的とした人材育成への活用

業務改善を実行し人手不足の解消と生産性の向上を実現した企業が、更なる生産性の向上を実現するため、企業内の人材育成に「人材開発支援助成金」を活用できる事例を紹介します。

建設現場で抱える課題

- **人手不足**
高所での作業も多いため、安全対策、調査・観察等について万全を期すことが必要だが、人手不足により、十分な業務体制を確保することが困難。
- **教育訓練制度の未整備**
現場の教育訓練の内容が整理されておらず、効果的な教育が不足。
独自の事業内訓練で上手く指導が出来ていないこと等により、早期離職が多く、定着率が低いことも人手不足の要因。

課題解決に向けた業務改善

- ドローン、クラウド型管理システム、ロボットの導入をはじめとする**DX推進**。現場作業のプロセスとコストを削減。
- 業務内容の棚卸し、ステージ毎に求められるスキルの洗い出し。
教育訓練を計画・管理することで**教育制度を可視化**。
- 新人研修後、**定期的にキャリア面談**を行い、本人の希望を確認の上で**資格取得研修を実施**。

人手不足の解消と生産性の向上

- 調査・測量・検査等の様々な業務でドローンやロボットを活用することにより、**コスト削減・省人化を実現**。同時に**業務災害のリスクを低減**。得られたデータをクラウドで共有できるため**書類によるやりとりの省略を実現**。
- 教育訓練の期間・内容を明確にすることで、業務に必要な知識・スキルをより効率的に身につけられるようになり、**定着率が向上**。
- 新人研修、キャリアアップのための研修制度が充実していることが強みとなり、**新規学卒者の求人応募が増加**。

人材開発支援助成金の活用方法

「人材開発支援助成金」は、事業主が従業員に対して職務に関連した訓練を実施した場合に、**訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成**しています。

上記の取り組みでは、ドローンの操作を身につけることを目的とした研修を実施する場合に、助成金を活用することができます。

<助成金活用のメリット>

- **助成金を活用して人材育成を行うと、研修等の費用負担を抑えることができます。**
- 高度な教育訓練等を従業員に受けさせることが容易になり、**DX推進等をはじめとした専門的な知識・技能を習得した人材を確保**でき、更なる生産性の向上も見込まれます。

